

稲門英語会だより

第20号
平成24年
11月1日

昨年三月、東日本を襲った未曾有の大震災と原発の被害は、私たちの日常を余りにも簡単に変えてしまったようです。岩手県宮古市在住の佐香武彦さんから、特に「寄稿いただきました。」

千年に一度の贈物

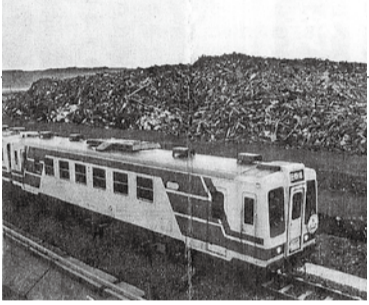


佐香 武彦

悲しさと有り難さに涙した一年半でした。当初は、生き残った者同士が手を取り合い抱き合って喜んだのですが、遅々として進まぬ復興を前にして、次第に氣力を失っていったようです。肉親も財産も失い、すっかり丸裸になり、寄せられた義捐金を当てにするも、それが速やかに配布されないなど、かかりすぎる時間の前では悔し涙を流すだけで…。

避難所で暮らしている被災者をAとすると、避難所以外で暮らしている被災者Bがあり、そのBを自宅で助けている善意の人たちCもいました。ところがCなどは、被災者と一緒に住んで彼らの面倒を見ているのに、支援物資は貰えないという、別の辛さを味わっていたようです。避難所に物資を貰いに行く手を持って行くなと言われることもあったとか。それでも助け合わなければならないと、戦後の食糧難のころのように「モ

ノ」を求め、分かち合って、苦しさを凌いだそうです。そのことに気が付き、皆さんからお預かりした貴重な品々は、彼らを中心に配りました。そうこうしているところへ福島原発の事故が起き、遠く離れた当地までも風評被害に見舞われてしまいました。一向に減らない瓦礫を目の前にして、やり場の無い悲しみは増大するばかりでした。解体しなければならぬ建物はあるのに、いざ解体しても瓦礫の持つて行き場所は無く、美しい言葉である筈の「絆」を恨めしく思ったものです。そんな中でいち早く瓦礫を受け入れてくれた石原東京都知事の英断は涙が出るほど嬉しいものでした。「同胞が困っているときには助けるのが当たり前だ。・放射線量が高いものをばら撒くわけではない。極めて線量の低いものを持って来るだけだ。：文句があるか」と反対者を一喝していた言葉は被災地の住民にとってどれほど有り難かったか。一軒また一軒と解体されていくのを見て「復興とは何もかも無くなることなのだろうか」と思うこともありました。基礎コンクリートだけが残っていた跡地は、今はそれさえも片付けられて、かつてそこにあった建物を思い出せないほどです。



4月2日、三陸鉄道北リアス線は、13か月ぶりに田野畑一陸中野田間で運行を再開した。

W.E.S.S.の皆さん！ 本当に有難うございました！

(昭和37年卒)

紙面をお借りして心からお礼を申し上げます。先日、宮古高校の同窓会があり、そこに出席していた被災者の一人は「去年は、早稲田の英語会の皆さんに本当に助けられたよ」と、しみじみ言っていたそうです。お礼を申し上げます。

エンジョイライフ 山登りは運命の趣味？ 山中 登美子



撮影/故内田 徹さん

この夏は、私にしてはかなりの山に登った。7月には北八ヶ岳の縞枯山から茶臼山。2週間後には同じ北八ヶ岳のニューウカ中山。8月のはじめには尾瀬の至仏山と日光の白根山。8月の下旬には山中湖近くの石割山から平野山、大平山の縦走。そして9月に入って、菅平高原を望む、花の百名山のひとつ根子岳に登った。どれも初級かせいぜい中級の山だろう。それでも例えばニューウカ(昔は乳房のようという)に登る前日、白駒池に泊まったのだが、バス停の洪の湯から白駒池への道はかなりのものだった。大きな岩がごろごろと続き、おまけにザンザン降りる雨。川のようになった道を四つん這いになって登ったのだ。かなりしんどくて、いったい私は何のために、こんな苦勞をしているのだろうと思もした。しかし翌日にはまた、ケロリとして次の山に向かう。いつの間にか山歩きがすっかり好きになっていったのだろう。

若い頃はハイキングぐらいいした。そして10年後、異様な疲れを感じるようになった。軽症うつ病だった。乳がんは10年で完治とも言われるが、その10年が経って興奮状態が去ったのも、軽いうつ状態になった一因ではないかと、今では思っている。「こんな状態で原稿が書けるはずはない。頭を休めるように」と医師に言われて途方にくれているとき「2000年がん克服日米合同富士登山」という新聞記事を目にした。頭が使えないなら身体を使おう、と思った私はすぐにその催しに応募した。それから1年、毎月低い山から訓練させてくれて、2000年8月には100名ほどのアメリカ人と共に富士山に登ることが出来た。

私はいま3つの山登りの会に参加している。富士山を登ってすぐ、そのとき私も所属していた1班の人々が「富士山の会」というのを作ってくれ、高校のクラス会で私が「富士山に登った」と自慢したら、高校3年3組の山登り会の「燦々会」が出来た。その後、富士山と一緒に登った女性たちが、がんの体験者を、医療者と山のベテランが支えてくれる、しっかりと組織の「FRCC = Front Runners Climbing Club」という、女性が体験者の山登り会を作っていてくれて、私はその会にも数年遅れで参加した。そうして山登りを続けている間に、軽症うつ病も、少しずつよくなっていった。



撮影/有富 祺子さん
根子岳で。

若い頃、仕事と酒と麻雀とタバコ、という不健康そのものの日常を送っていた私の最後の楽しみが、山登りになるとは想像もしたことが無かった。そのことを「富士山の会」のリーダーに言ったら「山中さんの名前を見るたびに、この人は山に登ることを運命づけられたひとだと思っただ」と言われた。そういう私の名前の中には山と登るという文字が両方入っている。いま私は「FRCC」のホームページに、自分の名前から一字ずつを抜いた「山登子」という名で、山で作った腰折れ句を投稿している。(昭和40年卒)

早稲田大学英語会は今年で120年目を迎え、今年には150名近い新入生が入会し、W.E.S.S.は益々繁栄の一途を辿っております。それもO.B. OGの皆様方の御支援・御協力があったからこそです。W.E.S.S.の代表として心から感謝申し上げます。

今年度Speech Sectionでは神戸大学主催神戸外国語大学杯に出場し、3位入賞。明治大学主催三上杯で2位入賞。明治学院大学主催へボン杯では3位入賞という好成績を収めました。Debate SectionはFEED2011で団体優勝。AYAME2012では団体準優勝、団体3位入賞。JNDTにて団体優勝という輝かしい成績を収めています。Drama Sectionは今年こそGrand Prizeをとり、W.E.S.S.会員と一生分の笑顔と涙と思いを共有しようと日々を駆け抜け

祝 松橋会長受賞!
2012年6月5日、早大校友会施設「永楽倶楽部」において、松橋功稲門英語会会長の「旭日重光賞」受賞祝賀会が盛会のうちに開催されました。君和田副会長から旭日重光賞の意義や会長の受賞にいたる旅行業での長い功績などが披露され、伊東克己先生の乾杯に引き続き、松橋会長が受賞の喜びとW.E.S.S.及び英語とのかわり合いなどを話されました。祝賀会には会員総勢57名が出席、会長の受賞の喜びを共に分かち合い、正に「集まり散じて人は変われど、仰ぐは同じき理想の光」の感でした。

今年度はDebora Zoe Lauter著のOut of Stereoという作品に挑戦致します。この作品は、7年間家を出たことのない女性が、とあることから7年ぶりに家を出て、色々な人に出会い、色々な価値観に触れ、一人の女性として自立していく物語と成っており、見た人に「一歩踏み出す勇氣」を与えてくれるScriptです。本公演は11月24・25日に埼玉県志木市民会館で行われます。是非ともお誘い合わせの上、御来場ください。12月15日にはSpeech Sectionが中心となって運営する大隈重信杯争奪全日本学生英語弁論大会、通称大隈杯を開催致します。今年度の功績が認められ、外務省や有名企業の支援・協賛の下、大隈講堂で行われることになりました。今年度は、Speech Sectionを抑え、1年会の栄宮優希がW.E.S.S.代表として出場致します。このようにW.E.S.S.



夕食会にて。

35年卒の同期は「お釈迦様の会」と称し、毎年4月8日、愛宕山にある清岸院にて十数名の同期会を開いて、友好を温めています。

清岸院は同期の川岸君が鐵翁大和尚と称し住職を務められており、東京タワーの近くにあります。本年は特に咲き遅れた桜の満開をエンジョイ出来ました。

10年前は金井君の住居近辺の桐生旅行、5年前は滋賀大学名

同窓会だより

若狭小浜旅行

二俣 和雄

にも新たな精銳が加わり、活動のレベルが年々上がってきております。是非とも足を運んで頂ければ幸いです。

W.E.S.S.では、先輩方が作り上げた伝統を受け継ぎ、毎日のように活動に没頭し、英語力の向上に努めております。現役幹事長としては会員達が笑顔いっぱい毎日活動していることがなによりも喜ばしいことだと感じています。これからもこの笑顔を絶やすことのないよう、先輩方の伝統を下の代に継承すると同時に、自分達の努力し続ける背中を見せていきたいと思っております。

終戦記念日独歩行

福田 浩人

嘗教授富田君の住居近辺の琵琶湖北登山旅行と続き、本年は若狭小浜旅行を楽しみました。若狭放生祭りを楽しみ、レンタカー2台で川岸君、長野君の名運転・安全運転のもと、その昔朝鮮交易北前船交易で栄えた若狭小浜の明通寺以下の、10か所の名刹を巡り、また三方五湖遊覧を楽しみました。

卒業以来52年、鬼籍に入られた人7名、現役16名、後期高齢者になるも元気で活動を続けたものです。(昭和35年卒)

終戦記念日のひとり歩きを始めてから10年以上になる。終戦の日には満洲に居たので、戦時中の苦勞を知らない。映画などで知り得た、あの日を自分で体感したいと思ひ、歩くことにしたのだ。8月15日でなければ意味がない。多少の雨でも順延なしである。行きつけの酒場で知り合った若者二人にその話をしたら、参加したいと言う。一昨年、善福寺川を富士見町から西荻まで遡行した。その男女は、休日の過ごし方の未知の体験だったと言った。今年また誘ったら行くと言う。武蔵境駅からICU・天文台・神代植物公園、逆戻りして近藤勇の墓参り。腰痛予防には清水にもらったキネシオテープを貼った。

今年も、若い人達と一緒に歩いたことが励みになっての完歩だったかもしれない。

日本語ボランティアを始めた10年前、アイウエオから教えた最初の教え子(当時中一)がスリランカから再来日。感動の再会だった。

同期の内田画伯が大調和展と

岡崎秀生君を偲ぶ

児玉 士誠

世田谷区民展に入賞。副幹事長飯島が不帰の客となった。(昭和36年卒)

卒業から半世紀、中学から数えれば60年の付き合いだった岡崎秀生君が8月19日、前立腺がん、転移性骨腫瘍との7年余りに及ぶ闘病生活の末に、ついに帰らぬ人になりました。唯一のホルモン治療が功を奏し、普通に生活していた期間も長く、タイガーズの例会にも毎年のように元気に参加してくれていただけに、突然の訃報にはただただ驚愕し、寂しさに言葉もありませんでした。

幼少期を父上が戦病死。新聞記者だった祖父の慈愛を一身に受けて育つ。温厚篤実、いつも笑顔絶やさなかつた岡崎君。全身の痛みや死の恐怖と闘いながら、強靱な精神力で弱音は一切吐かなかつたと聞きました。本人の強い希望で最後は在宅ケア。奥様はじめ家族の皆さんが見守る中、勤務先のイギリスの大学から急遽帰国した愛娘の声に意識が覚醒し、髪をなでながら「よう、帰った…」これが最後の言葉になったそうです。享年72歳 観海院釈秀徳 ご冥福を心から祈ります。(昭和37年卒)

英福会(38年卒)短信

大渡 肇

2011年10月7日、布施絢子さんが旅先のメキシコで急逝されました。女性会員では初めての死亡です。ご冥福を祈ります。

今年2012年10月21日、ホームカミングデーに卒業50周年として式典参加。これが最後の参加でしょう。以下会員の短信を。

今年もこの投稿が出来る幸せ
(佐藤康男)
きすにはぜ 海老いか穴子 天
(坂井 肇)
今夏は南アルプス赤石岳登頂
(阿部 達)
今年も 海外旅行 4回しました
(上田幸弘)
歳には勝てないと思ふ今日この頃です
(有馬れい子)
加齢による体の老朽化と戦つてます
(泉 雄次郎)
つくばの科学館、NPOなどで、理科実験工作のショーなどやっています
(崎村雅彦)
大過なく日々を過ごしております
(津田桂子)
沖繩から本土へ戻る仲間のヨットに長崎出島で乗船(5月初)。
(古谷俊爾)
五島列島、瀬戸内海、と1か月の大航海でした
(東後勝明)
特急わかしおを見て友を思う
(大倉 肇)
元気で楽しく過ごしています
(浜本尚子)
両脚の浮腫みが酷くて不愉快です
(浅香英男)
TVに向かって吼える毎日です
(梶山 亨)
微かな上達を頼りにギターを弾く
(島村政二郎)
健康第一、毎日歩いて、歩いて
(畑 廣子)
宝石、化石商、夫婦で米国仕入旅中
(三船昌子)
余生、時間があるようでないナ
(田口隆志)
涉獵の日々、時折気ままな遊子

に (奥田斐規)
老後生活は健康と友人あつてこそ (河原篤子)
70歳を過ぎ人生の節目を重く感じている (高木聰行)
六回り腰や足など泣き出しぬ (広江尚司)
100歳過ぎた母の介護に時を費やしています (小林洋子)
脊柱管狭窄症の手術をし、今元気にしております。(森美紀子)
MY MENTAL AGE IS 60
BUT PHYSICAL AGE IS 80 (杉山昌章)
スマートフォンを喜ぶひ孫が1歳! (田崎 徹)
老いの身を華やかに舞う日々楽しむ (松村央子)
青森弘前で「呑み喰い蔵座敷川丁」を50年経営しつつ、弘前稲門会の会長も務めています (能正豊)
白内障手術、久しぶりに妻の手引かれ (大渡 肇)
(昭和38年卒)

同期会を開催

安斉 洋一

7月5日に昭和39年卒の仲間会である「和龍会」を開いた。大手町の高層ビル23階の宴会場に28人の仲間が集まった。すぐ近くに皇居の緑が見える。シドニーから阿部晟君、旭川から佐々木邦男君が参加してくれた。故垣見忠彦君の奥様である牧子さんが元気な姿を見せてくれて嬉しかった。広川永圭君とは皆久しぶりの再会となった。和やかに談笑し、近況報告をして、最後に大道君のリードで「都の西北」を高らかに歌い散会した。その後は有志で「皇居東御苑」をのんびりと散策。そして新装なったパレスホテルでお茶を楽しんだ。

国際研修会報告

担当幹事：昭和53年卒業 平松 昌雄
昭和54年卒業 鈴木 順子

本年3月14日に第51回として昭和52年卒業、サンワコムシステムエンジニアリング(株)にお勤めの依田博様に「取締役の責任と経営判断原則」を講演いただいた。

取締役に関するテーマなので出席者には経営者の方が多かったせいか、質疑応答が過去にないほど活発で内容の濃い講演でした。7月11日には第52回として昭和57年卒業、ソニーに勤務している筒井隆司様から「世界を席巻した日本の家電事業の現状と新興国市場で韓国勢を駆逐する処方箋」というテーマで、今、注目をあつめるブラジルでのビジネスに関してのお話を聞く機会を得ました。11月13日には、昭和48年卒業で現在、シチズンホールディングス代表取締役社長の戸倉敏夫様に講演をしていただける予定です。2013年も3月、7月、11月の年3回行なう予定です。毎回講師をお願いする人選には頭を悩ませています。卒業生の皆様、参加者と講師、よろしく願います！特に若い世代の方々の講師と参加をお待ちしております！【連絡先：masaoh@yahoo.co.jp】

内田徹君の急逝

田中 久雄

昭和40年卒、案山子会の縁の下力持的存在であった内田徹君が、8月14日、遠い旅に発つてしまった。

10月22日の2年ぶりの案山子会総会準備の真つただ中の急逝の報に、同期一同声も出ない程のショックであった。

内田君は稲門英語会の主要行事にカメラマンとして皆さんの

三月最終土曜西北の風

山内 正樹

12月14日は赤穂浪士の吉良邸討ち入りの日。覚えやすいのでこの日の夜、昔馴染みの仲間が集まって酒宴を催す向きも多い。

わがS41卒の「早馬会」は討ち入りの日ではないが、今年から3月最終土曜日の昼、母校早

海外にいる同期からの便りによれば、三浦悟郎君は、ロスアンゼルスで不動産の仕事をするかたわら、趣味で奥様と三味線や民謡を楽しんでいる。ロンドンで旅行業の仕事をしている小川和子さんは、二人のお孫さんに囲まれて充実した日々を送っている。

病氣療養中の仲間も含め、人生いろいろ人様々ではある。(昭和39年卒)

10月22日の案山子会急逝「内田徹さんを偲ぶ会」に趣旨を変更し開催、内田君の遺徳を偲ぶ予定である。(案山子会世話役代表 昭和40年卒)

稲門英語会2012年度会計報告

(自2011.10.01 至2012.09.30)

【単位：円】

Table with 4 columns: 収入の部, 金額, 支出の部, 金額. Rows include 前年度繰越金, 今年度収入合計, 年会費, 寄付金, etc.

（*上記のほかに年会費の前受金が10,000円あります）

上記のとおりご報告申し上げます。

会計幹事 小倉 雅博(昭和50年卒) 平松 昌雄(昭和53年卒)



定価893円 河出文庫

ロンドン在住40年の加藤節雄さん(昭和41年卒)が、一味違うロンドンガイドブックを出版...

稲田の大隈講堂を見下ろす「西北の風」に集まることになった。卒業何十年とか、還暦の会とか...

ゴシック建築オタク

志岐 宏

それは空に突き刺さるように建っていた。ケルン大聖堂。世界最大のゴシック聖堂。30年ほど前にそれを見て以来、ゴシック建築に興味を持ち続けている。

卒業40周年の集い

岡田 俊雄

今年の2月11日の夕、卒業40周年の集いを高田馬場の「シチズンプラザ」に19名(うち女性2名、関西からも2名)が参加して行った。

私の姉さん先生

高瀬 三郎

吉田卓郎の往年のヒット曲「夏休み」の歌詞に「姉さん先生もういない」というフレーズがありすが、私にとって忘れられない姉さん先生のお話です。

社会人大学院で学ぶ

依田 博

英語会同期の福田正彦君に勧められ、社会人のための夜間大学院で2年間学んだ。私達の世代には懐かしい一橋講堂の跡地に建つ高層ビルがキャンパスである。

卒業して35年

平松 昌雄

8月頃、早稲田大学から封書が届きました。開けてみれば卒業後35年のホームカミングデーの案内通知でした。さっそく知っている限りの同期のメールアドレスにメールを送信して、10月21日(日)に同期会の開催を通知しました。

大切なことは WESSSで教わった

鈴木 純一

WESSSの本質論をご存じか? 曰く、各人が切磋琢磨し成長することにより、社会の発展、ひいては世界の発展に寄与することがWESSSたる本質であると。当時、多めに感動し、その思いを実現せんと、大企業の一員となり新しいビジネスにも挑戦したが、出世ばかりに懸命な人々に憤慨し15年で辞めた。

稲門英語会ゴルフコンペ

ゴルフ会幹事 毛利 憲勝(昭和48年卒)



こだまゴルフクラブを定宿とするゴルフコンペは第35回目を迎え、和気あいあいとラウンドしております。最近気になる事は参加者が30名前後と往年と比較して7割程度になった事です。

さてさて、ゴルフと言えば英国発祥の紳士のスポーツ故、ナイスオンと英語で掛け声をかけると、Good! You are on the greenと言ひ直されてドキッとしたり、ジャストミートですなと敬意を払うと「肉だけ?」等と笑ってジョークを返す先輩がおられます。最初にティーアップをするオーナーという言葉がHonorの略なのだという事も知りました。皆様、年2回のコンペに是非参加されますようお願い致します。



(昭和52年卒)

2012年度 稲門英語会 年会費納入者のお名前

(2011年10月1日から2012年9月30日まで)

Table with columns for graduation year (卒年) and member names (納入者). It lists members from 1938 to 2012, organized by year.

に生きている。しかし、中小企業経営は不安定である。これほど度か「もうダメ。死んで保険金を充てるしかないか」と追い込まれたこともあったが、周囲の方々のお陰でゴーイングコンサーンを保っている。

良い伝統は人の心に生き、次の伝統を生んでいく。WESSに心から感謝したい。(昭和57年卒)

司会の人曰く2分以内でお願い致しますの裏側

一つ下の後輩、高橋君のご結婚に際し式後のお祝いの会に我々の代もお招きいただいた。後輩にだけ声をかければお山の大将を味わえるところ「縁

には一つ上の先輩で日テレの河村氏がおみえになるという(実際、氏のスピーチはプロの技にふさわしく笑いあり涙あり...いやアタダでいいもの見させて頂けました)。

ボランティア

土谷 敦

あの震災からもう二年が経とうとしています。改めて被災された方にお見舞い申し上げ、また亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

し、今も積極的に支援を続けています。彼女と同期の中島麻紀さんは福島支援を中心に活動しています。

(平成7年卒)



出ください。また、自動引落の登録をご希望の方は事務局までご連絡ください。

総会・忘年会のご案内

今年度の総会・忘年会は12月8日(土)17時から開催します。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご出席ください。

場所：レストラン「アラスカ」 Tel.03-3503-2722 〒100-0011 千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル

稲門英語会事務局HP開設

稲門英語会事務局ホームページを開設いたしました。ぜひご利用下さい。 URL: http://kjass.net/wess/

会費納入のお願い

「稲門英語会」は皆様の会費によってすべてが運営されています。早大英語会補助、会員通信費など、会の継続のための大切な資金です。2013年度会費の納入をお願いいたします。

事務局よりのお知らせ